

口腔細菌検出装置orcoa

—*P.g.*菌検出システム概要—

あの***P.g.*菌**の**DNA検査**がたった**45分※**で**!!**
しかも**チェアサイド**で**!!**

※ 機器の測定時間の目安です

遺伝子検査 (PCR) のご提案

こんな悩み、ありませんか？

口腔状態が悪いのに
通院を止める人がある…

治療結果に
納得してもらえない…

保険診療だけでは
時間も人も足りない…



自費診療を
案内できない…

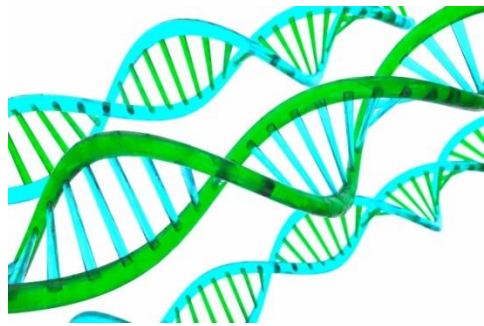
▶ その悩み、PCR検査で解消しませんか？



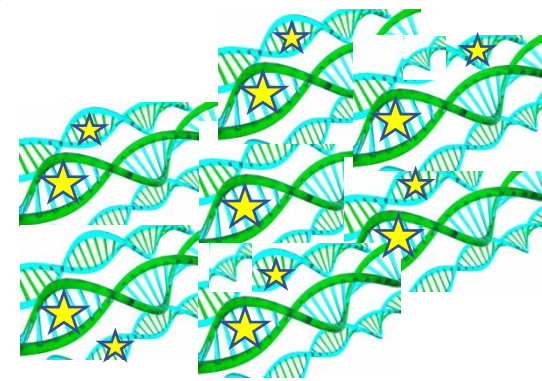
遺伝子検査(PCR)とは？

PCR(Polymerase Chain Reaction)とは？

- ▶ 生物は特定の遺伝子（DNA）を持っており、目的の菌が検体中にいるか判定することができます。



- DNA増幅試薬
- primer（目的のDNAに結合）
- 蛍光物質（DNAと結合して発光）



目的の菌のDNAだけが
増幅し、増幅した分だけ
蛍光が強くなる
(ターゲット以外のDNA
は増えにくい)

光量が多ければ、
目的の菌がいる

陽性

- ▶ 目的の菌が少しでも検体に含まれていれば、DNAを増幅させて
精確に判定することができます。

PCR検査のメリット：菌数が分かる



検査をすれば…

歯周病を「**菌**」という認識しやすいワードで表現し、
治療して菌を減らす必要があることを伝えられる

契約医院様
からのお声

患者のモチベーション、アドヒアランス向上

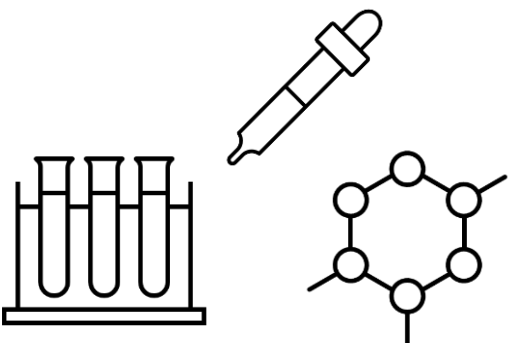


定期健診受信者の確保、診療提案が容易になる
次回の診療やセルフケア指導に役立つ

でも、一般的な遺伝子検査は高額かつ時間がかかる…

orcoaとは？

▶ 口腔内の**Porphyromonas gingivalis**（**P.g.菌**）のDNAを検出することが可能な、**PCR装置**です。

種類	 一般的な遺伝子検査（外注） ※弊社調べ	 口腔細菌検出装置 orcoa
検査代	10,000～30,000円	2,000円
検査時間	2週間～1ヶ月	45分
検出限界	10～100個/μL	100個/μL
作業内容	検体採取・梱包・発送	検体採取・簡易キット
検査結果	菌数詳細	菌数概要・ランプ表示・説明用紙
測定原理	PCR法	PCR法

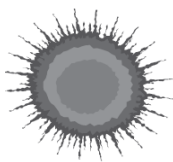
検査項目について

orcoaで測定できる菌種のラインナップは、以下となっております。



【PG-1000】： *P.g.*菌 I ～ V 型

Porphyromonas gingivalis の線毛(イメージ図)



I 型
直毛型



III型
剛毛型



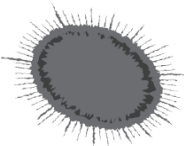
1b型
束毛型



IV型
スキンヘッド型



II型
パンチパーマ型



V型
産毛型



【PG-2000】： *P.g.*菌2型のみ

Porphyromonas gingivalis の線毛(イメージ図)

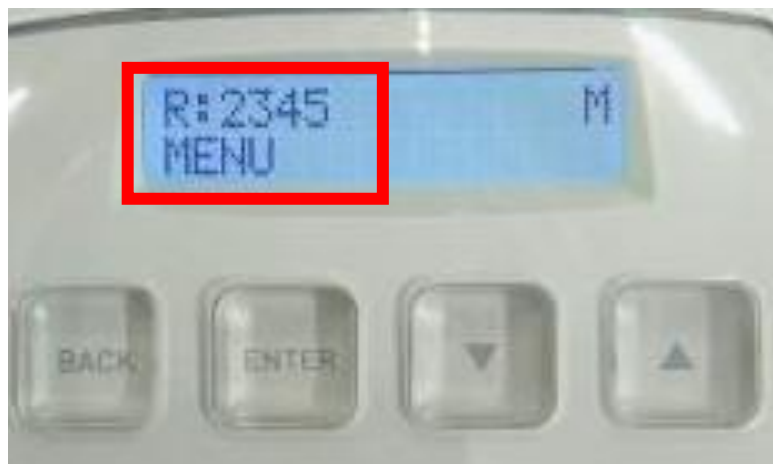


II 型
パンチパーマ型

因子	歯周病の発症リスク(オッズ比)
I 型	0.16
I b型	5～15
II 型	44.44
III型	1.96
IV型	13.87
V 型	1.40
I b型	5.27
重度喫煙	8.60
肥満(BMI≥30)	2.32

orcoaのメリット ①菌を数値で評価

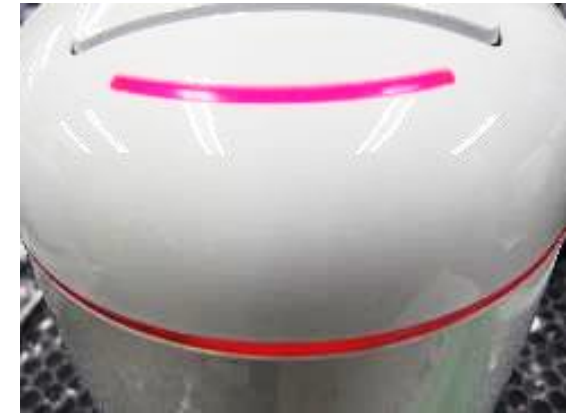
一般の方では分かりづらい歯周検査の項目を、
菌数（目安）というイメージしやすい検査値で説明することができます。



【測定結果表示画面】



＜陰性＞



＜陽性＞

【本体LED】

プラーク中の菌数※の目安が数値で表示されます。

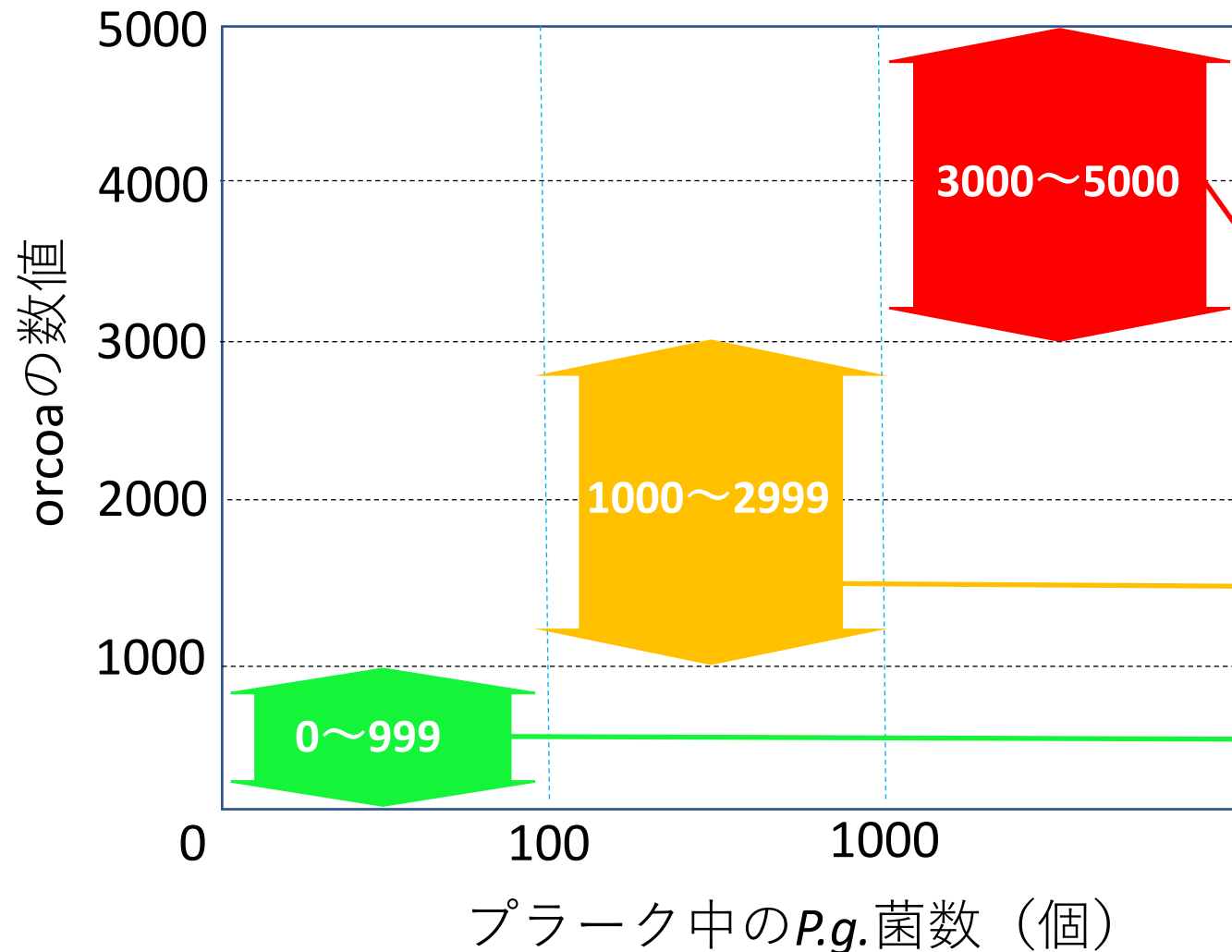
契約医院様
からのお声

**口腔状態が数値とランプで表示されるので
理解しやすく、インパクトを与えることができます。**

※数値は菌数を示していません。また、検体の状態によって検出値はぶれることがありますので、あくまで目安としてご利用ください。

orcoaの数値目安（PG-1000:青い検出キット）

PG-1000を使ってプラークを測定したとき、orcoaが示す数値※1を表しています。



*P.g.*菌が約1000 個以上含まれる検体を測定すると、orcoaは3000～5000を示します。
(かなり多くの*P.g.*菌が検出されました)

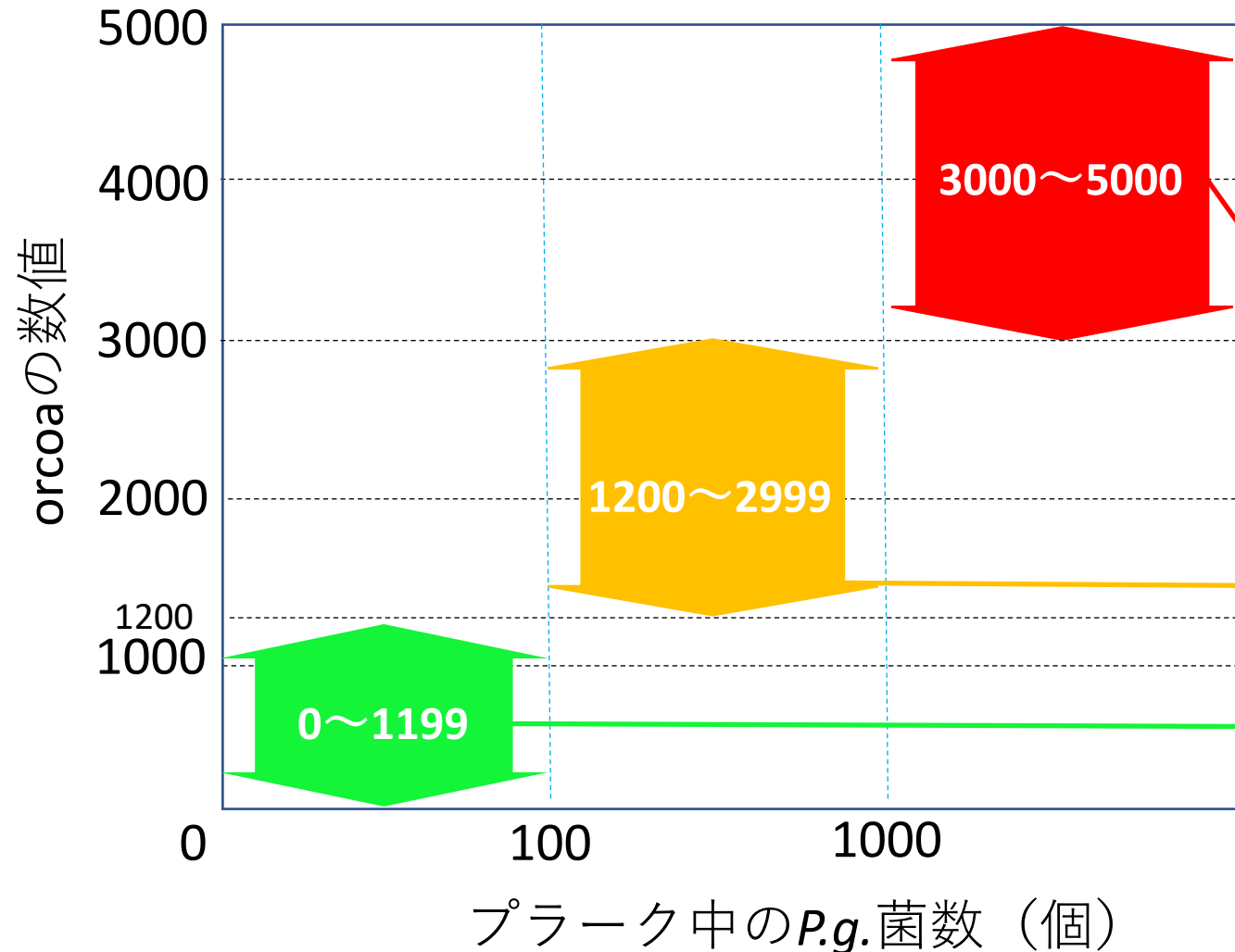
*P.g.*菌が約100～1000 個含まれる検体を測定すると、orcoaは1000～2999 を示します。
(*P.g.*菌が検出されました)

*P.g.*菌が含まれない検体を測定すると、orcoaは0～999を示します。
(*P.g.*菌が検出されませんでした)

※1：数値は菌数を示していません。また、検体の状態によって検出値はぶれることがありますので、あくまで目安としてご利用ください。

orcoaの数値目安（PG-2000:赤い検出キット）

PG-2000を使ってプラークを測定したとき、orcoaが示す数値※1を表しています。



*P.g.*菌が約1000 個以上含まれる検体を測定すると、orcoaは3000～5000を示します。
（かなり多くの*P.g.*菌が検出されました）

*P.g.*菌が約100～1000 個含まれる検体を測定すると、orcoaは1200～2999 を示します。
（*P.g.*菌が検出されました）

*P.g.*菌が含まれない検体を測定すると、orcoaは0～1199を示します。
（*P.g.*菌が検出されませんでした）

※1：数値は菌数を示していません。また、検体の状態によって検出値はぶれることがありますので、あくまで目安としてご利用ください。

orcoaのメリット ②検査当日に結果通知

口腔状態が悪いのに通院を止めてしまう方はいませんか？

- ▶ 検査して*P.g.*菌がいたことをその日のうちにお伝えしておけば…？



- ▶ *P.g.*菌がいることが分かれば、通院の動機になる。
- ▶ 検査を通じて現状の理解が深まり、ケアの必要性が伝わる。



契約医院様
からのお声

orcoaの検査時間は45分。
その日のうちに結果をお伝えし、
次回の診療やセルフケア指導に反映しています。

orcoaのメリット ③簡単かつ非侵襲

スタッフ全員が難しい装置や検査器具を使うのは大変・・・

▶でもorcoaの使い方は**非常に簡単**です。



【採取方法】



【検体処理】

- ▶ 検体採取は**歯間ブラシ**を数回、**歯間に通すだけ**。
- ▶ 検体を希釈してフタに塗りつけ、容器にセットするだけで準備完了。
- ▶ 歯間ブラシを通すだけの、ほとんど痛みのない検査。

契約医院様
からのお声

**簡単操作で導入後の練習時間を取らせません。
また、検体採取は痛みがなく、すぐ終わるので安心して提案いただけます。**

orcoaのメリット ④検査結果用紙 ※1

※1契約医院様限定のサービスです。
モニター中はご利用になれません。

検査結果を分かりやすい用紙でお伝えすることができます。



担当からのコメント
<検査結果の説明>

数値の説明が記載されます。

P.g.菌 (Porphyromonas gingivalis) とは
歯周病に関与する菌の中でも最も毒性が高いとされている菌のひとつで、口の中で見つかる歯周病リスクが高くなるといわれています。また、この菌は全身への影響が多数報告されています。
(例として、糖尿病や心臓病に関与しているという報告があります)

※画像は開発中のサンプルになります。内容は変更する可能性があります。

- ▶ 過去3回分の検査結果が表示され、治療の成果が分かります。
- ▶ 数値やP.g.菌の説明を、PCから印刷してお渡しできます。

契約医院様
からのお声

検査結果用紙をお渡しして共有することで、
通院の必要性を理解させ、納得のいく診療を進めやすくなりました。

契約医院様のOrcoa価格設定例

orcoa料金価格

口腔細菌検出装置orcoa : 40万円(一括・税別) or 2万円/月(分割・税別・総額46万円)
orcoa口腔細菌検出キット : 2万円/パック(税別・送料別・1パック10個入り)

▶ どのように運用しているのか？

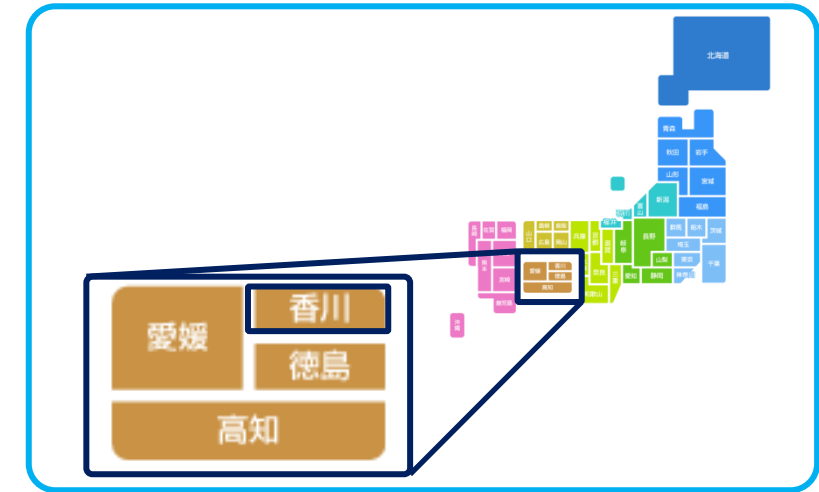
契約医院様の運用事例	検査代	詳細
A医院	5,000円前後	歯周症状が出ている方への提案
B医院	無料	インプラント前に検査し、数値が下がるまでクリーニングを行ってから、施術
C医院	3,000円前後	陽性の場合は、自費診療を提案
D医院	総額 1 ～3万円	独自の歯科ドッグ(検査～治療)に組込む

▶ いずれもモチベーション向上・関係性の構築を目的とし、
貴院の定期来院者の増加と自費診療導入につなげていくことができます。

orcoaを導入した医院様の成功事例

例) 香川県 : T歯科クリニック

自費診療率 : 約50% , スタッフ4人
来院者数 : 40~60人/日



【活用方法】

- ▶ 歯周病中程度以上の場合にorcoaを案内
- ▶ 陽性だった場合は、菌が原因で重症化していることを伝え、医院独自の歯周内科治療プラン(自費)を案内(3 DS ・ SRP)

プランへの誘導数アップ
顧客満足度アップ

診療提案に納得いただく材料の1つとして、orcoaをご活用いただいております。

契約医院様のインタビュー動画

弊社では、orcoaをご契約いただいた医院様へ、インタビューを行っております。

下記QRコードよりアクセスいただき、ぜひ動画をご覧ください。

【契約医院様のインタビュー動画一覧】



<https://www.youtube.com/channel/UCTZCwdyXyJ-O5rezfzGSrdg/videos>

医院様での運用方法をお話いただいております。

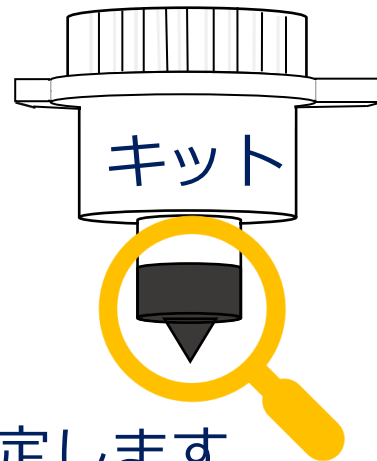
動画をご覧のうえ、orcoa導入をご検討ください。

※動画は随時追加されます。

※その他情報も含めてメールマガジンにて配信いたしますので、
ご希望の方は右記アドレスへご連絡ください。 ▶ info@orcoa.jp

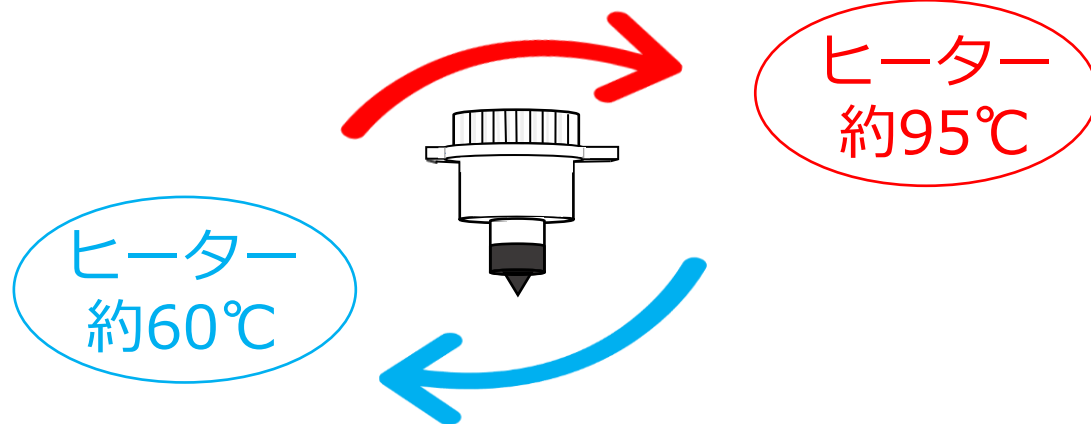
装置測定原理(容器設置後の流れ)

①



光量を測定します。
反応前なので、キット内の試薬は光っていません。

②



PCR反応でDNAを増幅します。
装置内のヒーター2つにキットを行き来させ、
検体中に*P.g.*菌がいればDNAが増えていきます。

③

*P.g.*菌無し

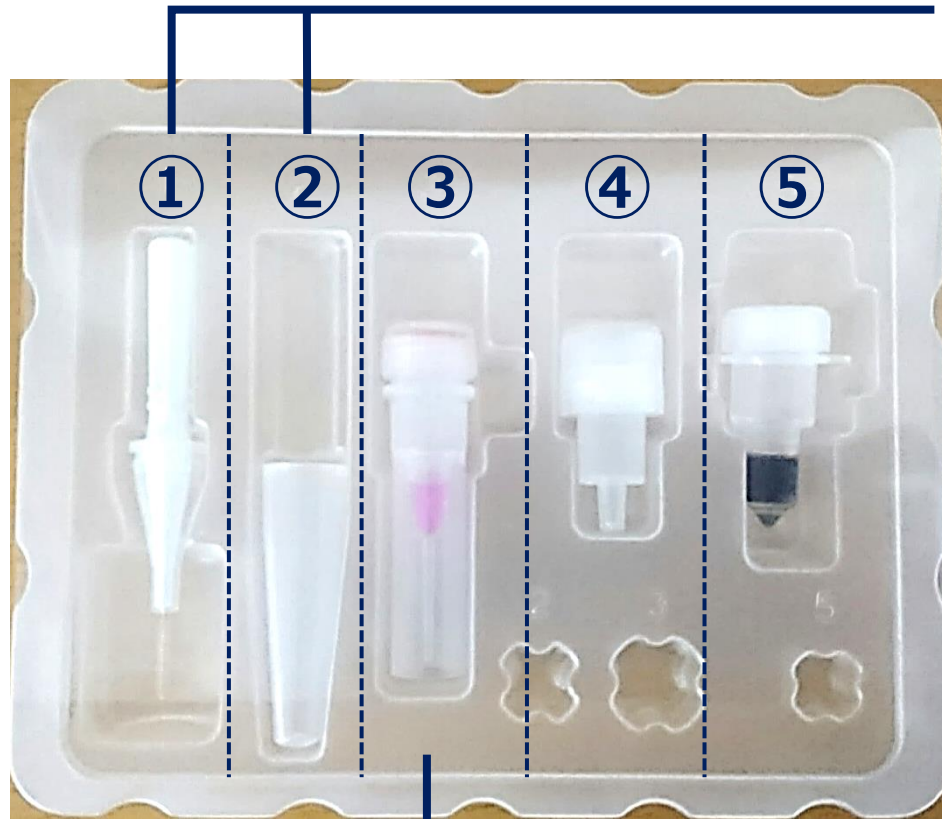


*P.g.*菌有り



光量を測定します。
検体中に*P.g.*菌のDNAがいれば、
試薬の光を検知して陽性の判定が出ます。

検出キット内容物詳細 ①



③ 希釈液

採取した検体の粘度・不純物の量などは人それぞれです。③の液中に分散することで④のフタへの塗布をスムーズにし、ムラのない検査が可能になります。

①② 歯間ブラシとキャップ

検査において検体の量は重要な項目の一つです。特にプラークのような検体を用いる場合、採取しすぎると不純物が多くなって上手く検査できません。



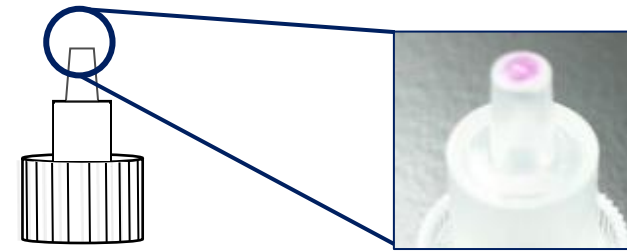
本製品はプラークを使いますが、歯間ブラシに弊社開発の内キャップを装着しており、②キャップにはめて引き抜くことで、必要最低限のプラーク以外を削ぎ落すことができます。

検出キット内容物詳細 ②



④ 検出キャップ

PCRは一つの検査に用いる試薬量は20 μ Lと非常に少なく、検体が多すぎると上手く検査できません。希釈液を塗り付ける検出キャップは先端にくぼみがあり、約1 μ Lという適切な量が乗る構造になっています。



⑤ 検出容器

本来PCRの試薬は冷凍保存しておき、検査直前に数種類を混ぜ合わせる必要があります。本製品は検査直前まで試薬が混ざらない構造になっており、解凍後は希釈液を加えるだけで検査可能な状態になります。

費用・お支払方法について ①

orcoa 装置本体料金

一括：400,000円(税抜) または、**分割：月額 20,000円(総額：460,000円・税抜)**

※ 一括・分割ともに2年間のアフターサービスが含まれます。



アフターサービス(任意)：年額 20,000円(税抜)

※ 契約締結から2年以内にご加入※2年後に費用が発生します。

※ アフターサービスへ未加入の場合、装置のアップデート・修理などの際に別途見積りでの

ご対応となります。(見積費用目安：10万円～40万円)

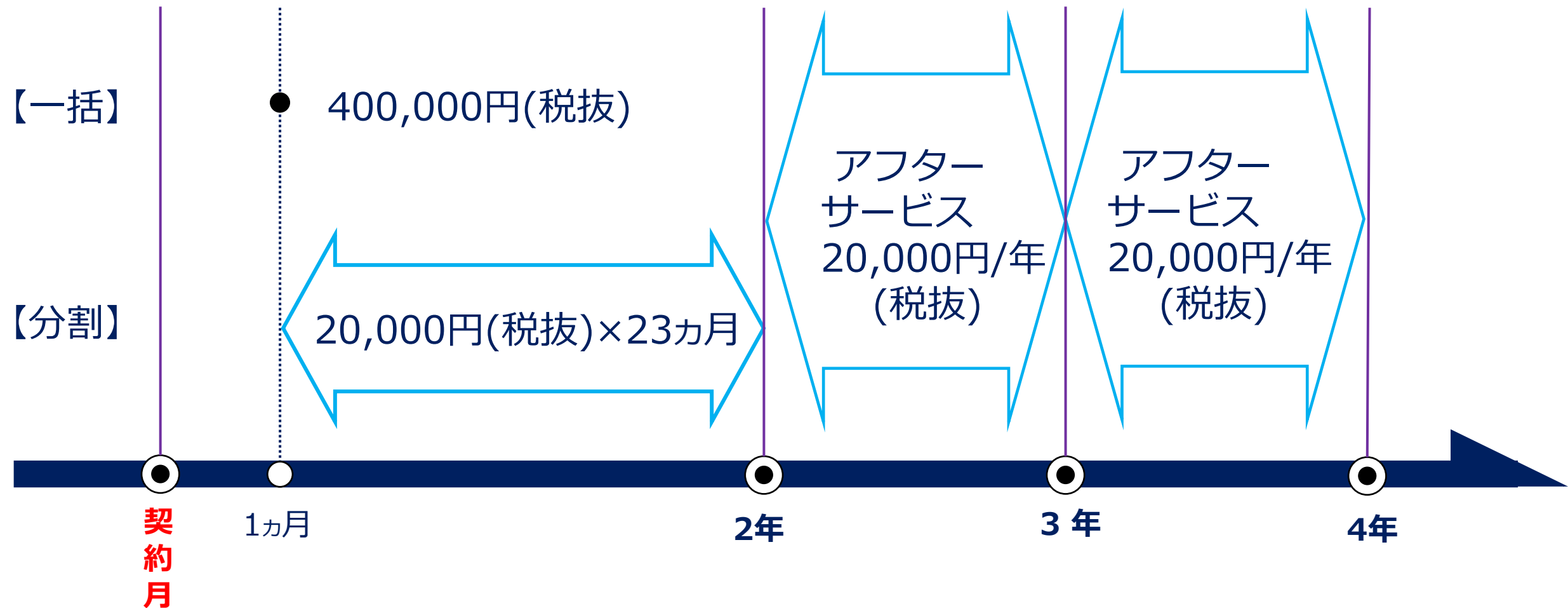
※ アフターサービスへのご加入を推奨いたします。

口腔細菌検出キット

20,000円/1パック (税別・送料別・1パック10個入り)

※ クール宅急便でお届けいたします。

費用・お支払方法について ②



お支払方法：**クレジットカード決済のみ**となります。

取扱いカード会社：VISA / MASTER / JCB / AMEX / DISCOVER / DINERS

orcoa口腔細菌検出キット の取り扱い注意事項

- 冷凍庫にて保管ください（家庭用の冷凍庫で保管可能です）
 - -30℃以下での保管は、避けてください。
 - 使用期限はお手元に届いてから約3カ月です。箱裏面に使用期限を記載しております。
 - 製品受取後、速やかに冷凍保管してください。
 - 使用する前に常温にて解凍してください。（約10分）
 - 解凍後1時間以内を目安にご使用下さい。
 - 各週 金曜日24時までに発注いただきますと、
 - 翌週 金曜日に冷凍宅急便にてお届けいたします。
- （金曜日24時以降に発注いただいた分は、翌々週 金曜日着になります。ご注意ください。）
- 1個単位での販売は行っておりません。1パック10個入りでの販売となります。

▶ ご不明な点は弊社担当者にお問い合わせください。

TEL : 0120-382-118/ FAX : 0120-089-118

MAIL : furukawa@daishintrading.co.jp

LINEID
@313ceitt



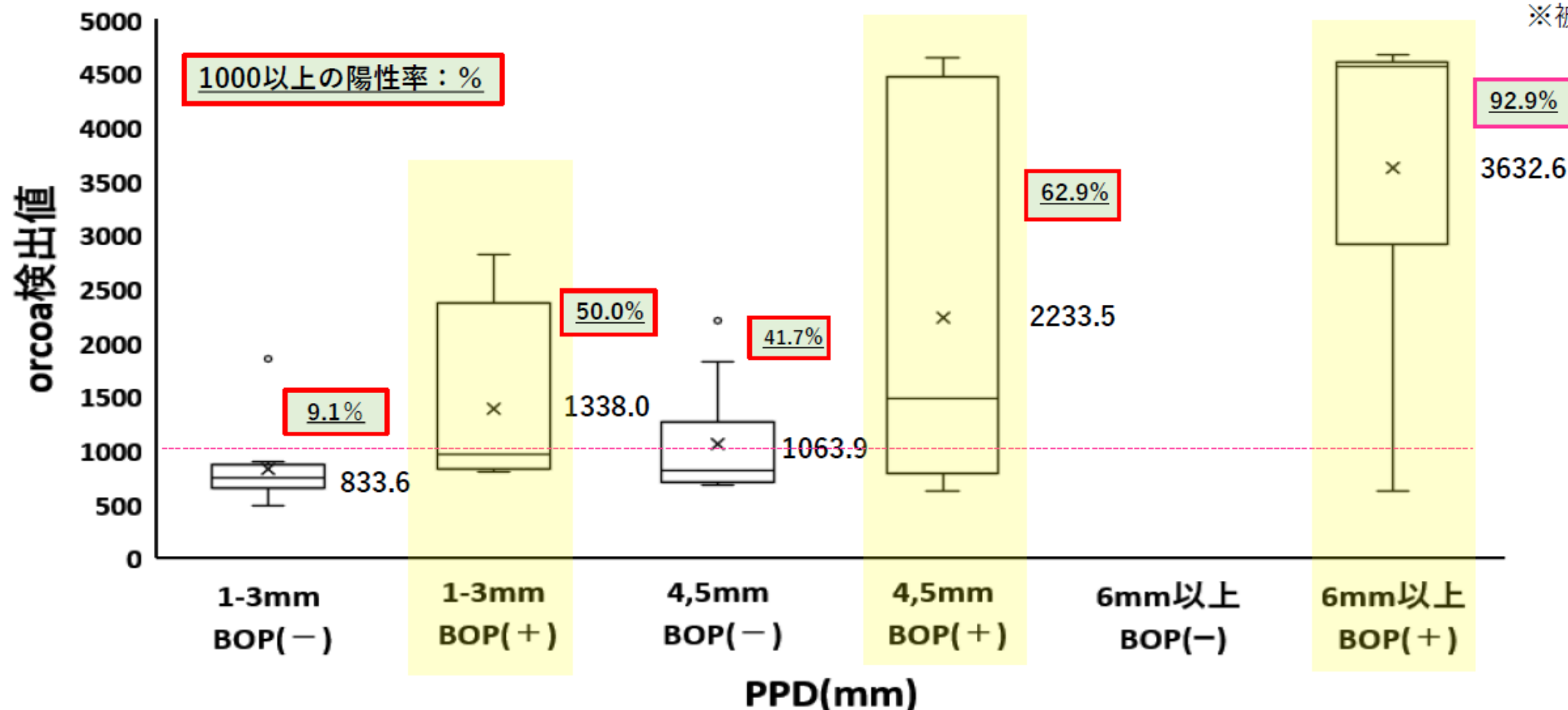
orcoaの数値と歯周病の症状との相関

2020年度秋季日本歯科保存学会発表

「PCRを用いた *Porphyromonas gingivalis* 迅速検出システムの有用性」

徳島大学大学院 医歯薬学研究部 歯周歯内治療学分野

※被験者：90名



- ・ BOP(+)の場合、**50%以上**が *P.g.* 菌陽性 (orcoaの数値が1000以上)
- ・ PPDが深くなるごとに orcoaの数値も高くなります。

歯周病の症状と orcoaの数値は高い相関を示しています。

現在は自覚症状が無くても *P.g.* 菌がいれば、歯周病中等度以上になるリスクが高いと考えられます。
orcoaの *P.g.* 菌検査は、患者さんへの動機づけや予後判定に有用であると考えます。

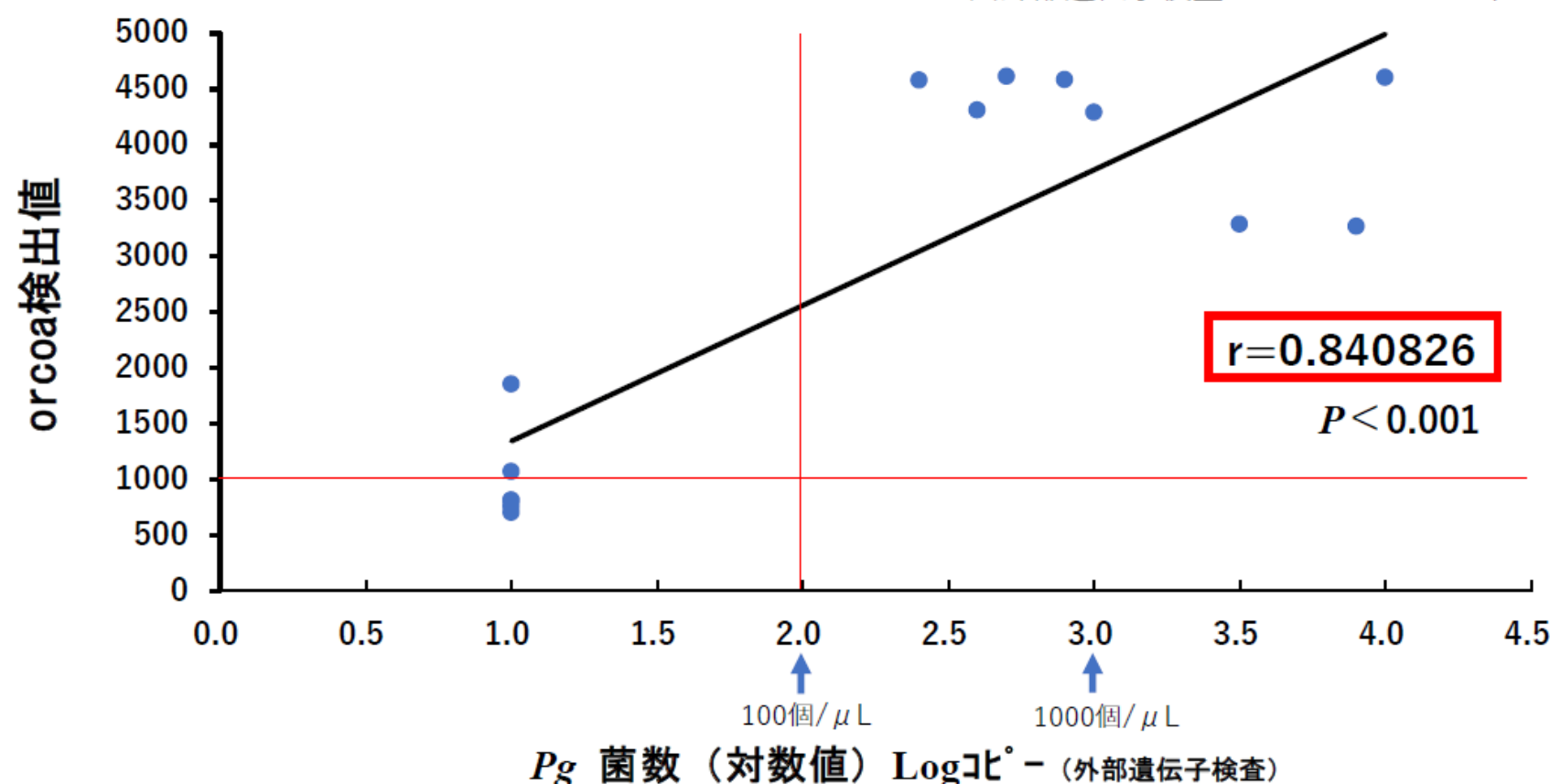
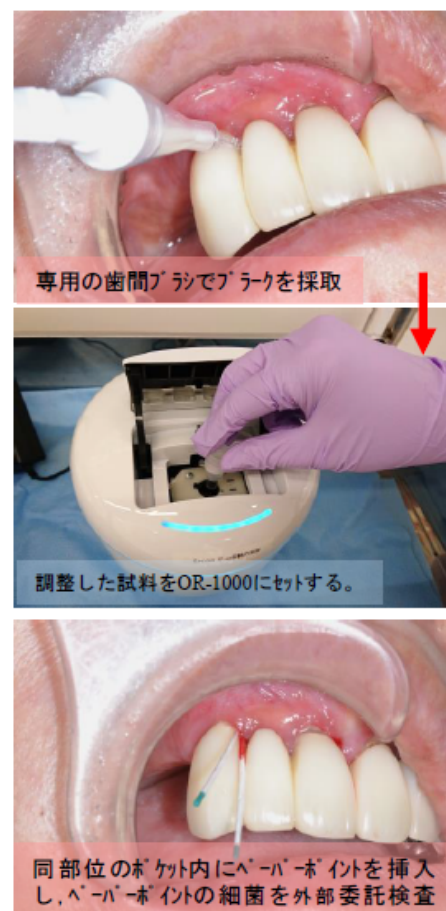
orcoaの数値と外部遺伝子検査との相関

2020年度秋季日本歯科保存学会発表

「PCRを用いた *Porphyromonas gingivalis* 迅速検出システムの有用性」

徳島大学大学院 医歯薬学研究部 歯周歯内治療学分野

※外部遺伝子検査はペーパーポイントにて検体採取



歯間ブラシ（緑上）で採取するorcoaとペーパーポイント（緑下）で採取する外部遺伝子検査で比較したところ、**80%以上の高い相関性**を示しました。orcoaによる簡易迅速検査は外部検査機関と同等の精度をご提供できます。

外部検査機関と同等の結果を低価格で得られ、かつ当日中に結果をお知らせすることが可能になります。検査当日に *P.g.* 菌がいることをお伝えでき、歯周病に対する患者さんの意識向上の資料として活用できます。

orcoo

オルコアは分析機器です。使用方法を守って正しくお使い下さい。



株式会社オルコア

orcoo オルコア正規販売代理店



大信貿易株式会社
DAISHIN TRADING CO.,LTD.

本社／〒592-8346 大阪府堺市西区浜寺公園町3-231-3

<http://www.daishintrading.co.jp>

大信受注センター

tel.0120-382-118 fax.0120-089-118

製品の仕様・表記は予告なしに変更することがあります